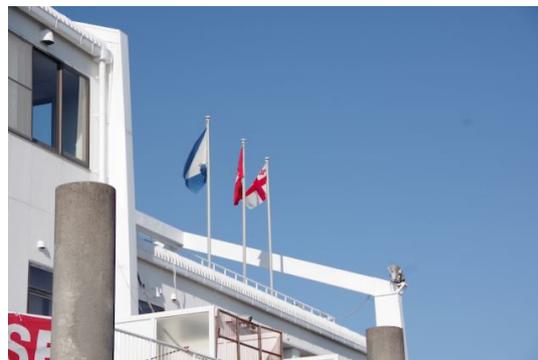


第11回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ(ミキハウスカップ大阪2024)実施報告

大会運営本部本部長 玉置 純
((一社)日本ジュニアヨットクラブ連盟 理事)

第11回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ(ミキハウスカップ大阪2024)は例年通り、大阪府ヨットセーリング連盟二色ハーバー(大阪府貝塚市)において、スポーツ庁、外務省、公益財団法人日本セーリング連盟(以下 JSAF)、大阪港湾局、公益財団法人大阪府スポーツ協会の後援と三起商行株式会社(以下ミキハウス社)の特別協賛、ゆうこうマリン株式会社、株式会社カズ・マリンプロダクツの協賛、大阪府ヨットセーリング連盟の協力を得て、一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟(以下 JJYU)の主催により、10月6日(日)に開催いたしました。大会直前まで日本近海の台風の影響等で天候が心配されていましたが、当日は晴天と風に恵まれ、無事に大会を実施する事ができました。

また、前日の10月5日(土)には神戸キワニスクラブのご協力を得て、マリスタ国際学校と関西国際学園に通う日本在住の外国人生徒8名を招き、体験試乗会を開催しました。開催地の大阪ジュニアヨットクラブの子供達と一緒にヨットに乗ったり、BBQと一緒に食べてお互いの交流を図り、楽しい時間と経験をしてもらったと思っています。



大阪府ヨットセーリング連盟二色ハーバー



体験試乗会 参加の皆さん



試乗会風景



試乗会のみんなで BBQ

6日のレース当日は地元の大阪をはじめ、沖縄、大分、和歌山、兵庫、滋賀、香川、愛媛、岡山、三重の12クラブより本大会過去最多となる選手56名の参加があり、OP級上級者クラスに23艇、OP級初級者クラスに20艇、ILCA46に3艇、ILCA6に10艇の内訳となりました。

9時より開会式が行われ、伊藤雅宣大会競技運営本部長(JJYU 副会長)の挨拶、開会宣言に続き、2020年東京五輪セーリング競技出場のミキハウス社所属の須長由季様より選手への激励の挨拶を頂き、選手のモチベーション高揚に努めて頂きました。最後にOP級上級者クラスで昨年優勝のB&G高松海洋クラブの山本汐隠選手より優勝トロフィーの返還と同選手へのレプリカの授与を行いました。

続いて小野澤秀典レース委員長(JJYU 理事)から、選手ブリーフィングがあり、9時40分にD旗を掲揚し、ILCA4,6、OP級上級者クラスより出艇し、続いてOP級初級者クラスもレース海面へ向かいました。



開会式



伊藤副会長ご挨拶



ミキハウス須長由季選手の激励の挨拶



山本汐隠選手より優勝トロフィーの返還 小野澤秀典レース委員長の選手ブリーフィング



競技はILCA4、6 と OP 級上級者クラスは二色ハーバー沖合い海面で、OP 級初級者クラスはハーバー近くの海面で実施しました。総じて北からの涼しい風の中、風速 5~10 ノットで上級者クラスは 5 レース、初級者クラスは 7 レースを行う事ができました、

OP 級上級者クラスは晴天の下、第 1 レースは予定通り、10 時 10 分にオールクリアでスタートし、スタートラインから上マークまで 250m、上下間で 450m のコース長で設定した中、トップ艇のフィニッシュまで 32 分、最終艇が 37 分という事で 5 分間に 23 艇がフィニッシュするという白熱したレース展開となりました。

第 2 レースも風速、風向ともほとんど同じでしたので、同じコース設定でレースを行い、

トップ艇から最終艇まで6分差でフィニッシュが出来、順調なレースでした。
第3レース以降も風のシフトや風速の変化に合わせて、コース設定を変更し、順調に予定の5レースを実施する事が出来ました。
運営を担当した大阪府連の関係者の協力もあり、大きなトラブルも無く実施できた事に感謝致します。



出艇風景



OP級上級者 スタート



1上



上マークの攻防





ILCA のスタート

上マーク

一方、OP 級初級者クラスは例年通り、二色ハーバーの西側岸壁寄りにコース設定し、コーチや保護者の声援を受けながらのレースとなりました。午前のレースは 30 度から 350 度の風向でしたので、0 度に上マークを設定し、所要時間 10 分程度の少し短めのコースとしレース回数を多くして、参加者にレースの楽しさを体験してもらいました。

5 レース終了後昼休みでハーバーバックした後、午後のレースを行いました。風がやや西に振れましたので 315 度に上マークを設定し、午前より少し長めのコースとして 2 レースを実施しました。

初級者クラスは経験の浅い選手もいましたが、コンディションに恵まれ、レースを楽しんでもらえたものと感じています。一方、上位を走っている選手の技量は高く、スタートやマーク回航で安定した走りをしていたのも印象的でした。



OP 級初級者のレース

全レース終了後、16時より表彰式・懇親会を行いました。
今回の懇親会も大阪ジュニアヨットクラブの保護者の皆様のご協力により、テイクアウト可能なボックスに手作りのサンドイッチ、ポテトフライと野菜というバランスのとれたもので大好評となりました。

また、懇親会の目玉として提供された「二色たこ焼き」は大人気で懇親会中ずっと焼き続けるという状況でした。

懇親会開始とともに成績発表、表彰式を執り行いました。大阪府ヨットセーリング連盟会長中西克誠様のご挨拶に続き、クラブ対抗レース優勝表彰、及び各クラスの上位入賞者にメダルと表彰状及び特別協賛のミキハウス社様よりの賞品を授与しました。また、OP

級上級者クラス優勝の B&G 高松海洋クラブ岩崎楓太君にはミキハウス社の光川彰夫取締役より優勝トロフィーが渡されました。賞品についてはミキハウス社様のほか、ゆうこうマリン(株)様、(株)カズマリンプロダクツ様よりも多くのご提供を頂き、選手一同大喜びでした。

また、懇親会では大阪ジュニアヨットクラブの応援歌の披露があり、会を大いに盛り上げてくれました。

会の最後に参加者全員で記念写真を撮り、協賛各社と大会をお手伝い頂いた大阪府連、大阪ジュニアヨットクラブの方々に御礼を申し上げ、本大会を終了しました。

最後に本大会にご協力頂いた全ての関係者に感謝を申し上げるとともに、来年の大会がより多くの参加者を得て充実したものとなるようご協力を重ねてお願いして、報告とさせていただきます。

以上



二色たこ焼き！



手作りの懇親会



大阪ジュニアヨットクラブの応援歌



OP 級上級者上位入賞の皆さん



ILCA6 上位入賞の皆さん



ILCA 4 上位入賞の皆さん



大阪府ヨットセーリング連盟会長中西克誠様のご挨拶

